

千葉市エコ体験スクール

「森をとおして見える人の生活」に参加して

川北紀子(千葉市)

開催日：2009年8月23日（日）

参加者：子ども24名

担当指導員：赤木光明、川北紀子、木下順次、栗山忠俊、後藤菊子、小林義和、
佐藤一枝、佐野由輝、高井昭夫、田邊裕美、生井幸男、花島伸美、
山下美佐子、山田益弘、

夏休みも終盤をむかえ、私にとっては初めて参加させていただいた「エコ体験スクール」でした。当日、どんな子供たちが参加してくるのかと楽しみにしておりました。エコに関心をもっている小学生とどんなふうに接したらいいのかと少し不安もありましたが、私の担当した班の子供たちは特にエコに関心があるというふうでもなく、すぐに親しくなれて楽しい一日を過ごすことができました。今回の体験で一人でも多くの子供たちが、エコや環境問題に関心をもってくれたらと強く感じました。

午前中、子供達には①二酸化炭素吸収量 ②透水性実験 ③水質実験 ④家紋カードの四つのコーナーを体験してもらいました。どのコーナーも子供たちは熱心に取り組んでいました。各コーナーとも子供たちが実験しやすい様にいろいろと工夫していました。

① 二酸化炭素吸収量実験

木の高さと太さから、1本の木が吸収した二酸化炭素の量を計算し、日本人が豊かな生活の中で排出している二酸化炭素量と比較しました。小学生には計算が少々難しかったようですが、森林が人間にとって貴重なものであり二酸化炭素を排出しない努力が必要であるということを理解したようでした。

② 透水性実験

ふかふかの森林土壤と、踏み固められた歩道の土どちらが早く水を吸収するかを比較実験しました。土を掘ったり、触ったりするのが子供たちは楽しそうで、熱心に実験に参加していました。森林土壤のもつ特性に驚いたようです。

③ 水質実験

昭和の森のしみだし水生活排水(牛乳、洗剤、ポテトチップスのかす)を加えたものをパックテストで COD を測定して、汚れ具合を比較しました。子供たちはいかに日常生活で水を汚しているのかと深く実感したようでした。

④ 家紋カード

2種類の家紋(カタバミ、オオバコ)を見せ、モチーフにした植物がどれかを探したり、オリジナルの家紋を創作しました。小学生にとっては、家紋などは興味のないものかと思っていたのですが、それどころか子供たちは夢中になって、家紋カードのモチーフになっている植物を探していました。

午後になって、暑かった野外から涼しい屋内に入り、子供たちもほっとしたようでした。屋内の「草木染め(叩き染め)」を皆、楽しそうに体験していました。初めて触る藍の葉を使って、思い思いの模様をシルクハンカチに描いていました。

昼食を済ませ、紙芝居「森林からの贈り物」を皆でみました。午前中の実験の復習をしながら森林の働きが自分たちの生活にといかに大切かということを学びました。

最後に「環境保全活動宣言」を行いました。子供たち一人一人の宣言を聞きながら、地球環境を良くしていくには、一人一人ができる事を少しずつでも努力し続けていくことが大切なんだと皆で誓い合いました。